憲法記念日に桜木町駅前で「9条守れ!」の街宣

笛と太鼓、獅子舞で注目を集める

2023年5月3日、76回目の憲法記念日、九条かながわの会は恒例の桜木町駅前広場での憲法9条を守る宣伝活動を行ないました。

休日の大勢の人びとが行き交うなか、太鼓集団荒武者の方々の勇ましい太鼓演奏(写真 1)から始まり、華麗な獅子舞(写真 2)と踊り、神奈川のうたごえの皆さん 20 人による合唱(写真 3)、リレートークで、注目を集めました。



写真1 太鼓集団荒武者の太鼓演奏



写真2 獅子舞が登場、笛は高橋由美さん

東戸塚 9 条の会の皆さんは、手製のポスターをもって参加されました(写真 4)。

リレートークによる訴え

リレートークは、岡田尚事務局代表 (写真 5)、上智大学の石川旺名誉教授 (写真 6)、後藤仁敏事務局長、神奈川県平和委員会の菊谷節夫理事長、横浜大空襲を経験した菅野章さん、弁護士の高橋由美さんでした。

岡田さんは、「私たち主権者が声をあげればこの国は変わる」と呼びかけました。それぞれに、日本国憲法の平和主義と9条の素晴らしさ、9条を蹂躙する岸田政権の大軍拡強行への抗議、対岸の横浜港のど真ん中に新設される米陸軍揚陸艇部隊の危険性を訴えました。



写真3 神奈川のうたごえの皆さんの合唱



写真 4 独自の手製のポスターを掲げる東戸塚 9 条の会の皆さん (伊藤悦子さん提供)



写真 5 主催者挨拶する岡田尚事務局代表

6月9条学校のチラシも配布し、大軍拡・大増税反対の署名35筆も集めました。カンパをくださる方もありました。

近くでは、神奈川県平和委員会青年部の若者が、 憲法についてのシール投票も行ないました (写真 6)。

また、時間と場所をたがえて、日本共産党神奈川県 委員会の皆さん、自由法曹団神奈川支部の方々も宣 伝活動をしました。

風も強くなく、よく晴れた祭日に、多くの方々に憲 法9条の大切さを訴えることができました。ご参加 くださった皆さんに厚くお礼を申しあげます。



写真6 スピーチする石川旺さん

後藤事務局長の訴え

桜木町駅前広場の皆さん、私たちは「九条かながわの会」です。今日は76回目の憲法記念日です。今から76年前、日本は先の戦争で300万人の日本人が殺され、日本軍はアジアで2000万人以上を殺しました。その屍の上に、日本は二度と戦争をしないとの思いを込めて、平和主義の日本国憲法が、戦争の放棄、戦力の不保持を誓った憲法9条が制定されました。

その後、米軍基地がそのまま日本に残され、自衛隊ができ、憲法 9 条をとりまく環境は大きく変化しましたが、それでも歴代自民党政権は軍事費を GDP比 1%に抑え、攻撃型武器は持たない、武器輸出 3 原則、自衛隊は海外派兵をしないなど、自衛隊に憲法 9条による縛りをかけてきました。

しかし、2015年、安倍政権は憲法 9 条を変えないとできないとされてきた集団的自衛権行使などの安保法制、戦争法を強行し、さらに岸田政権は軍事費を倍増して GDP 比 2%にする、5 年間で軍事費を 43 兆円にするという大軍拡を進めています。日本は「戦争できる国」から「戦争する国」に変えられようとしています。元内閣法制局長官の阪田雅裕さんは「憲法 9 条は死んだ」と言われましたが、今まさに憲法 9 条は殺されようとしているのだと思います。

皆さん、岸田首相は、日本を取り巻く安全保障環境が変わったと言いますが、軍事費を増やして日本の安全が守れるでしょうか。43 兆円使って世界で第3位の軍事大国になって私たちは安全でしょうか。世界で第2位の軍事力を持つ中国に勝てるでしょうか。抑止力を向上させても相手もさらに向上させ、戦争の危険を高めるだけです。それは戦前の軍事国会、日本の国土を焼き尽くした敗戦の歴史を見れば明らかです。日本の安全を守るには、憲法9条を生かした平和外交以外にはないと思います。

軍事費を拡大するには大増税も必要です。日本は 少子高齢化の危機にあり、軍事費ではなく子育ての 予算を、教育、医療、社会保障の予算を増やすべきで はないでしょうか。私たちは、総がかり行動実行委



写真7 シール投票を集める県平和委員会青年部の皆さん

員会や九条の会も参加した大軍拡反対、大増税反対 の署名を集めています。皆様のご協力をこころより 呼びかけます。

皆さん、岸田政権は全国の米軍と自衛隊が一体となった基地強化を進めていますが、横浜港のど真ん中、瑞穂ふ頭のノースドックにアメリカ陸軍の揚陸艇部隊が新設されること、ご存知でしょうか。1月12日の日米の防衛・外務担当閣僚の会合「2+2」で合意したと突然公表され、たいへん驚きました。揚陸艇13隻、兵士280人が常駐する新基地がこの春から新設されるというのです。4月16日に幹部5人の常駐が始まり、280人まで増やされます。

私たち横浜市民は2年前の横浜市長選で、瑞穂ふ頭の対岸の山下ふ頭にIRカジノが作られようとしたことをカジノ反対の山中市長を当選させて、撤回させました。カジノは私たちからお金を奪うだけですが、米軍基地は命を奪います。揚陸艇は、戦車を5台も積め、兵隊も武器も弾薬も積んで敵地に揚陸します。揚陸艇部隊の米軍基地は、戦争が始まれば最初に攻撃の的になります。市民の命も財産も奪い、横浜を神奈川を再び焼け野原にする危険性があります。アメリカの高官が「台湾有事は2025年だ」「2027年には中国は台湾を武力攻撃する」と戦争を煽っています。そうなれば、米軍基地のある沖縄が、そして神奈川が戦場になります。

私たちは大軍拡・大蔵前反対の署名も集めています。6月30日の6月9条学校のチラシも配布しています。皆さんのご協力を心よりお願いします。

九条かながわ No.26

発行 九条かながわの会 2023 年 5 月 9 日 発行 〒221-0823 横浜市神奈川区 ニッ谷町 2-9 ニッ谷コア 202 電話 090-7175-1911 Fax. 045-894-1052

E-mail:article9@nifty.com HP:http://9kanagawa.la.coocan.jp/